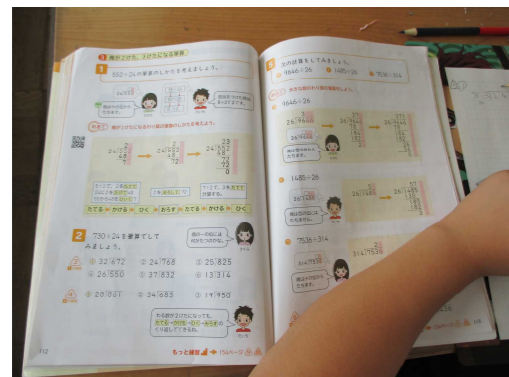


学校園だより

良樹細根

丹波篠山市立
たまみず幼稚園
城北畑小学校
9月の3

秋も日に日に深まり、日中は過ごしやすい日が続いています。夜になると待ってましたと言わんばかりにスズムシ、キリギリス、コオロギ、マツムシたちが音楽を奏でています。毎晩耳を澄ませて聴いていますが、心地よい秋の夜長です。



2けたでわるわり算の筆算

色紙が175まいあります。35人に同じ数ずつ配ると1人分は何枚になりますか。

4年生での学習です。(3けた)÷(2けた)の立式はできますが、ここからが頭を悩ませます。筆算の形にして計算に取り掛かろうとしますが、商はどの位の上立つのか、どんな数字を立たせるとよいのか、迷いの時間です。175を170、35を30と見立てて170÷30としてから商の見当づけをしていきます。また、見当づけた商が大きかった場合の処理の仕方は、1小さくすればよいことを話し合いました。割られる数と割る数を見て、おおよその商を直ぐに立てることが出来ればいいのですが、つまり数の大きさの概念(これぐらいだとこの商が立つな...)の把握が重要となるため、筆算の練習を重ねていきます。尚、あまりの出る割り算の筆算も学習していきます。この単元の学習は、5年生の小数の割り算へとつながっていきます。

1年生運動遊び



①器械・器具を使つての運動遊び・・・グラウンドの上り棒、雲梯、ろくぼく等を利用し、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや低い高さからの跳び下り②マットを使つての運動遊び・・・様々な方向へや回転③鉄棒を使つての跳び下り、ぶら下運動遊び・・・

の転がり、手で支えての体の保持の運動遊び・・・跳び乗りやがりや易しい回転④跳び箱を使った跳び乗りや跳び下り、手をついてのまたぎ乗りやまたぎ下り等々、各種の運動遊びの楽しさに触れ、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりしています。1年担任が技の資料を集め、子どもたちはそれらを見ながらチャレンジしています。例えば、鉄棒では、ぶたのまるやき、けんすい、足ぬきまわり、マットでは、ゆりかご、まえころがり、かえるの足うち、よこころがり、平均台では、かに歩き、ジャンプ下り、はいはい、回転ジャンプ下り

・・・、これらもほんの一部の紹介ですが、子どもたちは様々な動きを楽しんでいます。幼児期から低学年にかけての運動遊びを重視しています。この時期は、運動神経が最も発達し、多様な運動経験を積むべき時と捉えています。今後も意図的、計画的に取り組んでいきます。



クリンソウについて学ぶ

27日(月)
5校時、5年生教室に

て「クリンソウを守る会」から、津田博利さん、細見淳子さんを迎え、ふるさと学習を行いました。クリンソウの貴重性(湿地植生Aランク、危険性が一番高いレベル)、みたけの群生地は日本一(4300㎡で、17万株)、昔ここにはお寺があり、みたけ寺と呼ばれていた、群生地が発見されて14年になるが、山の手入れが行き届かず太陽の光が当たりづらくなっている

ので、現在はやや少なくなっている、2007年6月、鳳鳴高校創立、50周年を記念して登山がありその時に初めて発見された、守る会の会員は日本全国より260名で、現在は170名、鹿が食べそうな花ではあるが、毒性があるのか食べようとしない、遊歩道の整備や倒木の片付け、クリンソウの観察や林道整備等、年間20回程度山に登っているなど、たくさんお話を聞くことができました。最後にこれからの取組として、「持ち出さない、持ち込まないをモットーに自然のまま保全する。」と言われました。園芸種としてお店には赤や黄色のクリンソウが販売されていますが、城北畑地区みたけ山のクリンソウは発見当時のままのクリンソウを保全していきたいとお話されました。自分たちが住んでいる地域には、日本一の群生地があり、クリンソウを守る会の人たちが山で活動をされていることを理解しました、と子どもたちは授業後に言っていました。地域を知るとは言っても知らないことばかりですが、また一つ視野が広がりました。



きらきらの生け花

職員玄関入ったところのスペースを利用して、

きらきら学級在籍児童が生け花をして玄関口を飾っています。お花はキラキラガーデン(職員玄関手前右手花壇)から自分たちが気に入ったものを切り花として一輪挿しなどに活けます。花の色合い、切り花の背丈などが入れ物の色と合っているか、つり合いが取れているか、個々の悩みどころですが、友だちの活けた花を見ながらより良い生け花となるよう感性を磨いています。玄関の雰囲気

気が随分明るくなりました。

逃げて〜! 3年

「後ろ見なくていい。前だけ見て逃げるんや。」と担任の



アドバイスが飛びます。初めて経験するバトンパスの学習。オリンピックのようなバトンの受け渡しを目指しています。何回も練習するうちに相手との距離感をつかみ、どの地点で自分がダッシュするとトップスピードで受け渡しができるのかを体得しようとしています。今は2回程度しか練習ができていませんので、後ろを見ながらただたくしくバトンを受け取っていますが、今後の進歩に期待しています。